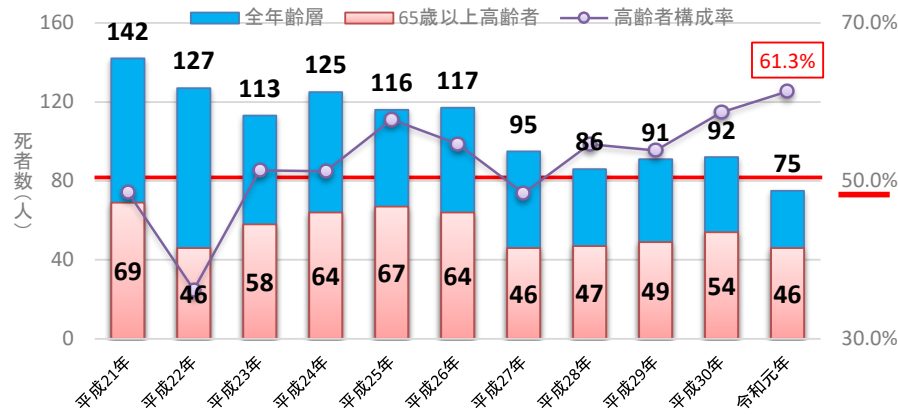


令和元年中の交通死亡事故発生状況 ～死者数75人、うち高齢者46人～

交通事故死者数の推移【広島県内】

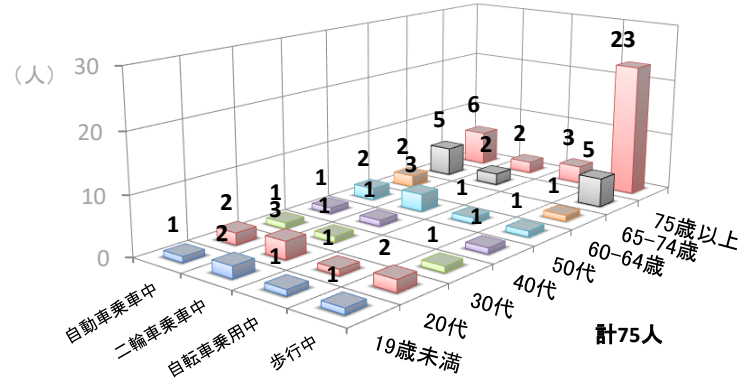


令和元年中の交通事故死者数は75人で、統計が残る昭和23年以降最少となりました。

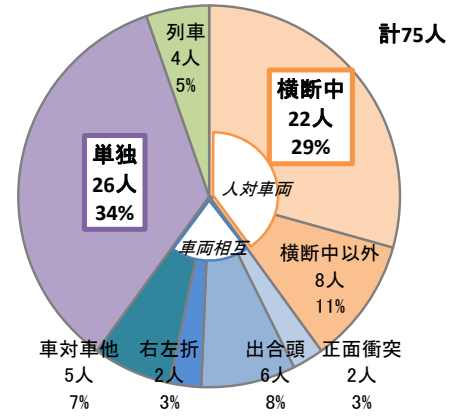
65歳以上の高齢死者も前年に比べて8人減少しましたが、全年齢層に占める高齢者の割合は6割を超えました。

交通死亡事故の主な特徴（令和元年中）

【状態・年齢層別 死者数】



【事故類型別 死者数】



- 歩行中の死者が35人と最も多く、うち75歳以上高齢者が23人で全死者の3割を占める。
- 事故類型別では、単独事故の死者が最も多く、次いで横断中事故による死者が多い。

交通事故を起こさない、被害に遭わないために



年間の交通事故死者数を75人以下とする目標は1年前倒しで達成しましたが、今なお多くの尊い命が交通事故で失われていることに変わりありません。
悲惨な交通事故を1件でも少なくするため、車両の運転者、歩行者がそれぞれの立場で事故防止に配慮し、思いやりをもって行動しましょう。